



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タクミナ

コード番号 6322 URL <http://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田信彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 吉田裕

TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,180	0.1	173	0.1	183	3.3	112	35.9
25年3月期第2四半期	3,175	△0.4	173	△33.4	177	△29.4	82	△39.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	18.12	18.04
25年3月期第2四半期	13.36	13.30

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第2四半期	7,689		4,367		56.7	701.18
25年3月期	7,992		4,316		53.9	693.12

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,360百万円 25年3月期 4,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	3.8	600	25.5	600	16.5	380	26.6	61.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、3ページ【2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	6,440,450 株	25年3月期	6,440,450 株
26年3月期2Q	221,340 株	25年3月期	222,983 株
26年3月期2Q	6,218,328 株	25年3月期2Q	6,205,756 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の経済環境は、政府・日銀による、財政・金融政策等を背景に、円安の定着による輸出の増加、消費動向の改善、企業業績の回復など、景況感に明るさが見えました。また、海外では、米国経済が緩やかな景気回復の状況にあるものの、新興国経済の減速など、世界経済の先行きに対する不透明感は依然として拭えない状況です。

こうした状況のもと、当社を取り巻く受注環境は、景気対策の効果やタブレット端末の普及などで設備投資が旺盛な業界があるものの、一般的な水処理プラントや民間工場の生産プロセスへの設備投資に対する姿勢は依然として慎重さが根強く、業界によって好不調の明暗が分かれました。また、海外向けプラント輸出は、円安や景気回復を受けて堅調でした。

品目別では、主力の定量ポンプが伸び、第2四半期では過去最高の実績となりました。

これは、おもに「スムーズフローポンプ（高精密ダイヤフラムポンプ）」が国内の船舶搭載向けや国内及び韓国を中心とした、塗工・電池などのケミカル・電子材料市場向けで好調であったことが要因であります。一方、水処理用の汎用ポンプは、国内については、プラント設備投資の低迷の影響を受けました。海外輸出は、前年同四半期に計上したタイ洪水復旧需要の減少がありましたが、円安要因などにより増加しました。

ケミカル移送ポンプは、前年同四半期に計上した鉄鋼業界向け「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」の大口案件の反動減が影響し、全体として売上高が減少しました。

計測機器・装置は、食品業界向けの大型装置などが貢献し、売上高は、前年同四半期を上回る実績となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は31億80百万円（前年同四半期比0.1%増）と前年同四半期を僅かに上回り増収となりました。

利益面では、高付加価値商品の販売増加により営業粗利率が改善し、これに減価償却費など製造経費の減少も貢献し、売上総利益は13億11百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、人件費や研究開発費の増加により11億38百万円（前年同四半期比4.0%増）と増加したことから、営業利益は1億73百万円（前年同四半期比0.1%増）と微増にとどまりました。また、為替差益などにより営業外損益が改善したため、経常利益は1億83百万円（前年同四半期比3.3%増）、特別損失が31百万円減少したことにより、四半期純利益は1億12百万円（前年同四半期比35.9%増）とそれぞれ増益となりました。

品目別販売実績は次のとおりであります。

【品目別販売実績】

期 別 品目別	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
定 量 ポ ン プ	1,627	51.2	1,706	53.7	79	4.9
ケミカル移送ポンプ	360	11.4	273	8.6	△ 87	△ 24.2
計 測 機 器 ・ 装 置	532	16.8	572	18.0	39	7.4
流 体 機 器	273	8.6	241	7.6	△ 32	△ 11.7
ケミカルタンク	232	7.3	206	6.5	△ 26	△ 11.4
そ の 他	147	4.7	179	5.6	31	21.4
合 計	3,175	100.0	3,180	100.0	4	0.1

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて3億3百万円減少し、76億89百万円となりました。

流動資産は4億23百万円減少し、40億96百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の減少76百万円、売上債権の減少3億81百万円、棚卸資産の増加34百万円であります。

固定資産は1億20百万円増加し、35億92百万円となりました。主な増減内訳は、有形固定資産の減少54百万円、投資有価証券の増加2億8百万円であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて3億54百万円減少し、33億22百万円になりました。

流動負債は5億9百万円減少し、19億91百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の減少2億25百万円、短期借入金の減少2億54百万円、未払法人税等の増加37百万円であります。

固定負債は1億54百万円増加し、13億31百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加1億61百万円であります。

また純資産は、前事業年度末に比べて51百万円増加し、43億67百万円となりました。主な増減内訳は、その他有価証券評価差額金の増加62百万円、四半期純利益1億12百万円から配当金1億24百万円の支払いを差引いた利益剰余金の減少11百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は2.8ポイント上昇し56.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月8日の「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,219	768,079
受取手形及び売掛金	2,943,425	2,561,748
有価証券	101,470	99,500
商品及び製品	48,874	64,257
仕掛品	826	1,721
原材料及び貯蔵品	469,997	488,284
その他	113,994	115,012
貸倒引当金	△3,116	△2,049
流動資産合計	4,519,691	4,096,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,195,113	1,151,506
機械及び装置（純額）	141,114	127,927
土地	595,128	595,128
その他（純額）	124,913	126,742
有形固定資産合計	2,056,269	2,001,305
無形固定資産	66,972	56,669
投資その他の資産		
投資有価証券	884,354	1,093,220
関係会社株式	9,840	9,840
その他	458,587	434,011
貸倒引当金	△3,058	△2,049
投資その他の資産合計	1,349,723	1,535,022
固定資産合計	3,472,965	3,592,997
資産合計	7,992,657	7,689,551
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,390,030	1,164,599
短期借入金	621,112	367,112
未払法人税等	36,880	74,415
賞与引当金	186,753	193,152
その他	265,500	191,731
流動負債合計	2,500,276	1,991,009
固定負債		
長期借入金	326,498	487,942
再評価に係る繰延税金負債	30,841	30,841
長期未払金	197,519	197,519
退職給付引当金	617,077	611,531
その他	4,357	3,455
固定負債合計	1,176,293	1,331,289
負債合計	3,676,570	3,322,299

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	732,777	732,853
利益剰余金	2,677,587	2,665,903
自己株式	△111,328	△110,515
株主資本合計	4,192,035	4,181,240
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119,720	181,829
繰延ヘッジ損益	39	—
土地再評価差額金	△2,374	△2,374
評価・換算差額等合計	117,384	179,454
新株予約権	6,666	6,557
純資産合計	4,316,087	4,367,252
負債純資産合計	7,992,657	7,689,551

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,175,469	3,180,209
売上原価	1,907,809	1,868,968
売上総利益	1,267,659	1,311,240
販売費及び一般管理費	1,094,658	1,138,004
営業利益	173,001	173,236
営業外収益		
受取利息	3,749	5,726
受取配当金	5,149	5,037
投資有価証券売却益	6,035	2,974
その他	5,833	4,950
営業外収益合計	20,767	18,689
営業外費用		
支払利息	6,872	5,940
売上割引	1,982	2,274
為替差損	6,295	—
その他	1,308	516
営業外費用合計	16,458	8,731
経常利益	177,310	183,195
特別利益		
新株予約権戻入益	124	—
特別利益合計	124	—
特別損失		
固定資産除売却損	398	—
減損損失	31,211	—
特別損失合計	31,610	—
税引前四半期純利益	145,825	183,195
法人税等	62,931	70,529
四半期純利益	82,894	112,665

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。